

「多様性」を再考する： 多文化交流科目の10年

2023 年は、北海道大学で留学生と日本人学生の国際共修授業である「多文化交流科目」の提供を開始して 10 年です。これまで、多文化交流科目シンポジウムとして、国際共修授業の意義や大学における制度化の必要性、アクティブ・ラーニングの手法や地域との交流、オンラインによる海外協定校との協働等さまざまなテーマを取り上げてきましたが、今回はこの数年間、わたしたちが考えてきた「多様性」の持つ意味やそれを授業で活用する意義について、みなさんとともに今一度再考できればと考えます。コロナ禍をとおして、対面での交流の意義はますます高まっていますが、そこで指摘される「多様性」は、時として一面的で、その内容が問われることなく交流の前提とされているのではないのでしょうか。本シンポジウムは、上記問題関心をもとにまとめた『国際共修授業——多様性を育む大学教育のプラン』の概要を紹介するかたちで進めます。

2023 年 3 月 13 日 (月) 13:00~15:00

オンライン(Zoom)開催

◆講演：

「多様性と教育-市民教育の視点から」 永岡 悦子氏 (流通経済大学)

◆話題提供・実践報告：高橋 彩氏 (北海道大学)

小林 由子氏 (北海道大学)

式部 絢子氏 (北海道大学)

◆全体ディスカッション・コメンテーター 山本 堅一氏 (北海道大学)

参加申込先：<https://forms.gle/6jBcChxPVgWPjnZ28> 申込用 QR コード↓

※定員は設けていませんが、参加方法提供のため、参加を希望される方は
3月10日(金)までにお申込み下さい。

※申し込みをされた方には、前日までに、参加方法をメールでご連絡します。



問い合わせ先：北海道大学高等教育推進機構 青木麻衣子 maoki [at] oia.hokudai.ac.jp
※メール送信の際はアドレスの [at] を@に置き換えてください。